

第3次プラン 指標から見る進捗状況

※ ★は国4次計画で都道府県に要求されている成果目標。以下同じ

重点目標1 女性の活躍と参画の促進	No	課題と現状	現状値	目標値	(参考) 国目標値	分析
	1	民間事業所の女性管理職（課長相当職以上）の割合★	7.0% (H27年度)	8.0%(H29年度/ 男女プラン) 7.5%(H27年度/ グランドデザイン)	部長相当職 10% 程度 課長相当職 15% (H32年)	一部未達成
	2	県幹部職員（課長級以上）（対象は知事部局、教育局、議会局、人事委員会事務局、監査事務局、神奈川県漁業調整委員会事務局における課長級以上の職員）における女性の割合★	14.2% (H27年度)	20.0% (H26年度)	部長相当職 10%程度 課長相当職 15% (H32年)	未達成
	3	県の審議会等における女性委員の割合★	34.5% (H27年度)	40.0% (H29年度)	33.3%（早期）、 更に40%以上を 目指す（H32年）	未達成見込み
	4	県及び市町村の審議会等における女性委員の割合★	33.5% (H27年度)	38.0% (H29年度)	県:33.3%（早期）、 更に40%以上を 目指す 市町村:30%以上 (H32年)	未達成見込み
	5	「男女共同参画社会」という用語の周知度★	57.5% (H28年度)	100.0% (H29年度)	男女とも 100% (H32年)	未達成見込み
	6	初等中等教育機関の教頭以上に占める女性の割合★	26.6% (H28年度)	27.0% (H29年度)	20%以上 (H32年)	達成見込み
					達成（見込み含む） 1項目 未達成（見込みや一部未達成含む） 5項目	

重点目標2 女性の就業支援と就業の場における男女共同参画の促進	No	課題と現状	現状値	目標値	(参考) 国目標値	分析
	1	25～44歳の女性の就業率★	67.4% (H27年)	62.0%(H25年) 67.5% (H27年/ グランドデザイン)	77% (H32年)	一部未達成
	2	男女共同参画推進の普及に向けて県が訪問する企業数	40事業所 (H27年度)	40事業所 (-)	-	達成
	3	職業技術校生の修了1年後の就職率	94.3% (H27年度)	88.0% (H26年度)	-	達成
	4	「職場」における男女の平等感	22.3% (H28年度)	30.0% (H29年度)	-	未達成見込み
					達成 2項目 未達成（見込みや一部未達成含む） 2項目	

重点目標3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現	No	課題と現状	現状値	目標値	(参考) 国目標値	分析
	1	県職員男性の育児休業取得率★	1.6% (H27年度)	10.0% (H26年度)	地方公務員 13% (H32年)	未達成
	2	男性の育児休業取得率★	5.0% (H27年度)	5.0%(H25年度) 4.1%(H27年度/ グランドデザイン)	民間企業 13% (H32年)	達成しているが課題あり
	3	週労働時間 60 時間以上の雇用者の割合★	9.9% (H24年)	5年前比 2割減 (9.9%) (H25年)	5.0% (H32年)	達成しているが課題あり
	4	県職員 1 人あたりの年次休暇取得日数	9.2 日 (H27年)	15 日 (H26年)	-	未達成
	5	子ども・子育て支援に取り組む事業者の認証事業者数	518 事業者 (H29. 2. 13)	800 事業者 (H26)	-	未達成
	6	かながわ子育て応援パスポート（子育て家庭の外出を応援するサービス）の協力事業者数	2,826 事業者 (H29. 2. 1)	2,500 事業者 (H26年度)	-	達成
	7-1	就学前児童の保育・幼児教育の提供 (1)認可保育所定員数	130,268 人 (H28年度)	110,000 人 (H26年度)	-	達成
	7-2	就学前児童の保育・幼児教育の提供 (2)家庭的保育	337 人 (H28年度)	802 人 (H26年度)	-	未達成
	7-3	就学前児童の保育・幼児教育の提供 (3)認定保育施設	65 か所 (H25年度)	67 か所 (H26年度)	-	※制度終了
7-4	就学前児童の保育・幼児教育の提供 (4)認定こども園	78 か所 (H28年度)	57 か所 (H26年度)	-	達成	
7-5	就学前児童の保育・幼児教育の提供 (5)幼稚園の預かり保育	409 園 (H27年度)	内容充実、 園増加 (H26年度)	-	達成見込み (実施園数) ※H27 制度変更	
8	自殺者の減少★	1,509 人 (H27年)	H17 比 20%減 (1,366 人) (H29年度)	H17 比 20%以上減 (H28年迄)	未達成見込み	
9	6歳未満の子どもを持つ夫の育児・家事関連時間★	69分/日 (H23年)	1時間45分/日 (H25年)	2時間30分/日 (H32年)	未達成	
					達成（見込みや達成しているが課題ありも含む）	6項目
					未達成（見込み含む）	6項目

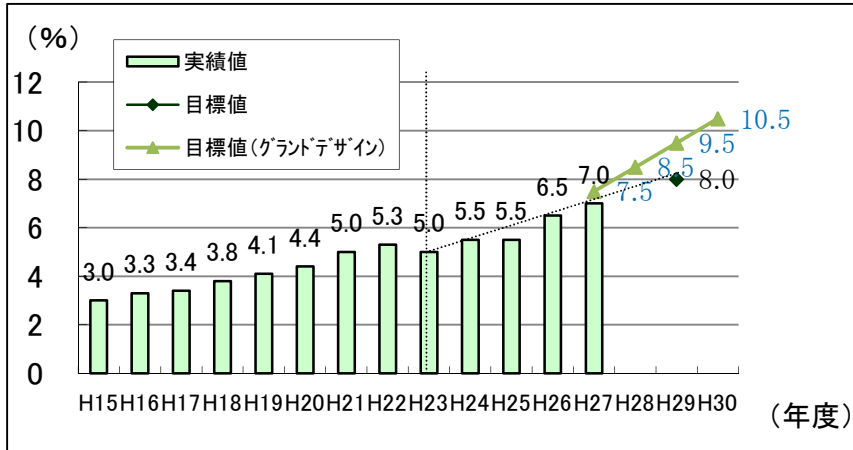
重点目標4 異性に対する暴力の根絶と人権の尊重	No.	課題と現状	現状値	目標値	(参考) 国目標値	分析
	1-1	夫婦間における次のような行為を暴力と認識する人の割合(1) 「交友関係や電話を細かく監視する」	28.6% (H28年度)	100.0% (H29年度)	-	未達成見込み
	1-2	夫婦間における次のような行為を暴力と認識する人の割合(2) 「大声で怒鳴る」	56.1% (H28年度)	100.0% (H29年度)	-	
	1-3	夫婦間における次のような行為を暴力と認識する人の割合(3) 「平手で打つ」	86.7% (H28年度)	100.0% (H29年度)	-	
	1-4	夫婦間における次のような行為を暴力と認識する人の割合(4) 「生活費を渡さない」(H23～)	68.7% (H28年度)	100.0% (H29年度)	-	
	2	配偶者等からの暴力防止や被害者支援に関する基本計画の策定市町村数	25市町村 (H28年度)	23市町村 (H29年度)	-	達成
	3	配偶者等からの暴力の相談窓口の周知度★	69.1% (H24年度)	100.0% (H29年度)	男女とも70% (H32年)	未達成見込み
	4	子宮がん検診、乳がん検診受診率(1)子宮がん検診★	43.0% (H25年度)	50%以上 (H29年度)	子宮頸がん・乳がんとも50% (H32年)	達成見込み
		子宮がん検診、乳がん検診受診率(2)乳がん検診★	42.9% (H25年度)	50%以上 (H29年度)		
						達成(見込み含む) 未達成(見込み含む)

第3次プラン 指標から見る進捗状況詳細

※H28.8月調査現在。ただし年次報告書(H28.11)や県民ニーズ調査(H28.12)に最新値があるものは最新値

【重点目標1】女性の活躍と参画の推進

① 民間事業所の女性管理職（課長相当職以上）の割合



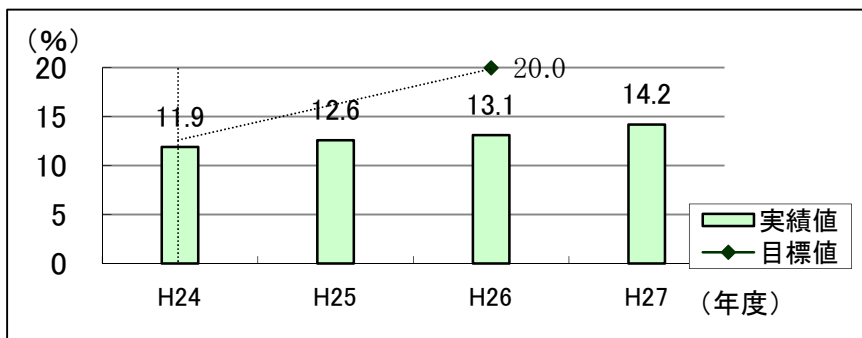
☆国(第4次) 成果目標
 ・部長相当職 10%程度、
 ・課長相当職 15%
 (H32年)

【分析】

プランの目標達成については順調に推移している。
 (ただしグランドデザインの目標値には達していない。)

※男女共同参画推進条例に基づく事業所からの届出結果（かながわ男女共同参画センター）

② 県幹部職員（課長級以上）における女性の割合（対象は、知事部局、教育局、議会局、人事委員会事務局、監査事務局、神奈川海区漁業調整委員会事務局における課長級以上の職員）



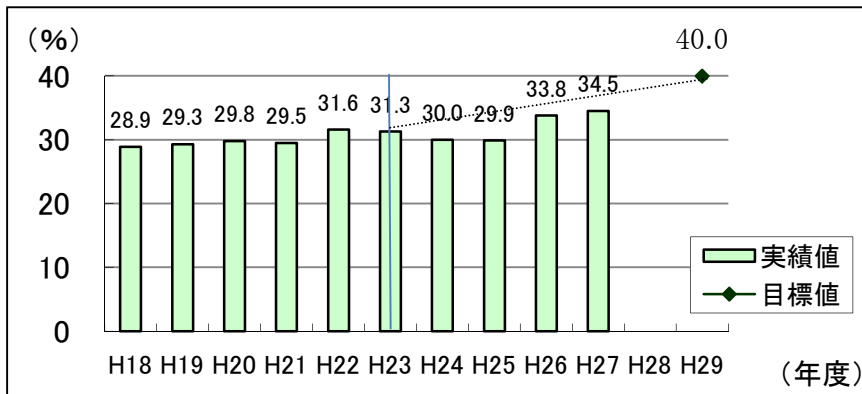
☆国(第4次) 成果目標
 ・部長相当職 10%程度、
 ・課長相当職 15%
 (H32年)

【分析】

割合は増えているものの、目標値には達しておらず、課題が残っている。

※人権男女共同参画課調査

③ 県の審議会等における女性委員の割合



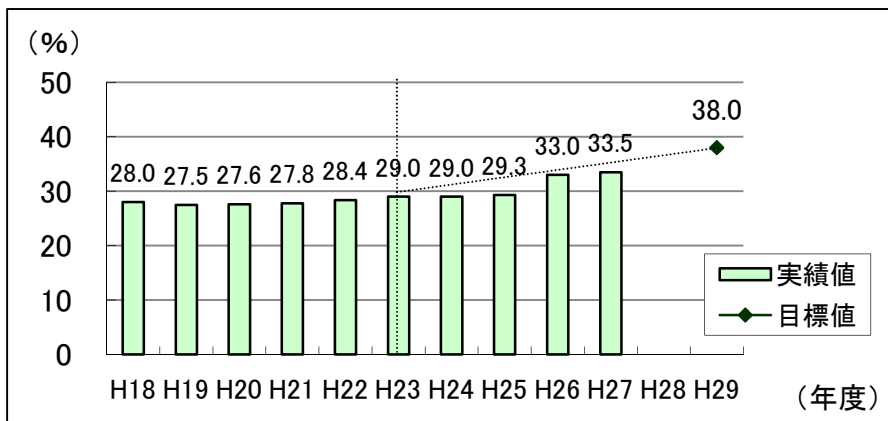
☆国(第4次) 成果目標
 33.3%(早期)、更に40%
 以上を目指す(H32年)

【分析】

H27 現在で目標値に達しておらず、推移も緩やかで、課題が残っている。

※地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査（内閣府）

④県及び市町村の審議会等における女性委員の割合

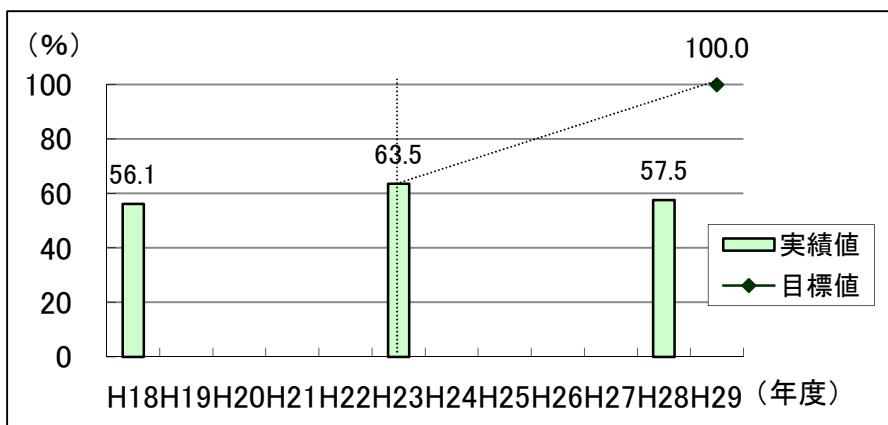


☆国(第4次) 成果目標
 ・県:33.3%(早期)、更に40%以上を目指す
 ・市町村:30%以上(H32年)

【分析】
 H27 現在で目標値に達しておらず、推移も横ばいから緩やかに推移しており、課題が残っている。

※地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査(内閣府)等から算出

⑤「男女共同参画社会」という用語の周知度

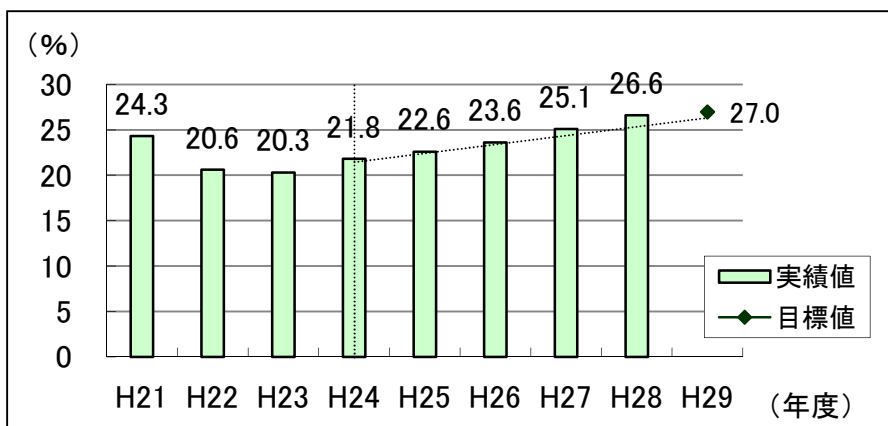


☆国(第4次) 成果目標
 男女とも100%(H32年)

【分析】
 H18 からの推移を踏まえると課題が残っている。
 ⇒H28 はニーズ調査結果

※県民ニーズ調査(課題調査)

⑥初等中等教育機関の教頭以上に占める女性の割合



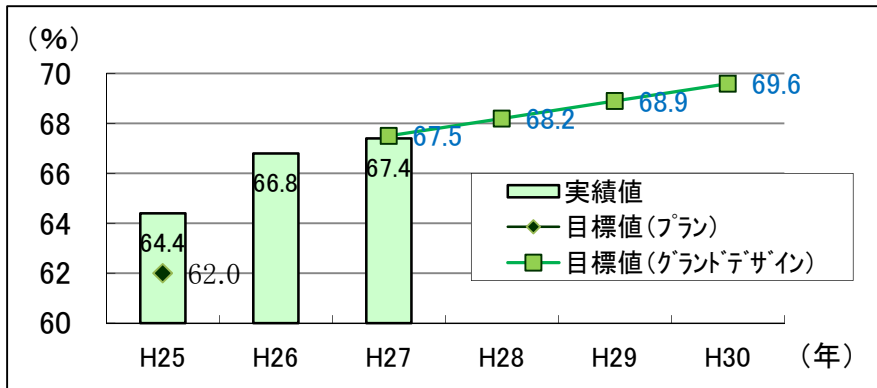
☆国(第4次) 成果目標
 20%以上(H32年)

【分析】
 H28 現在で目標値に達していないが、達成に向け順調に推移している。

※公立学校教職員の人事行政状況調査(文部科学省)

【重点目標2】女性の就業支援と就業の場における男女共同参画の促進

① 25～44歳の女性の就業率



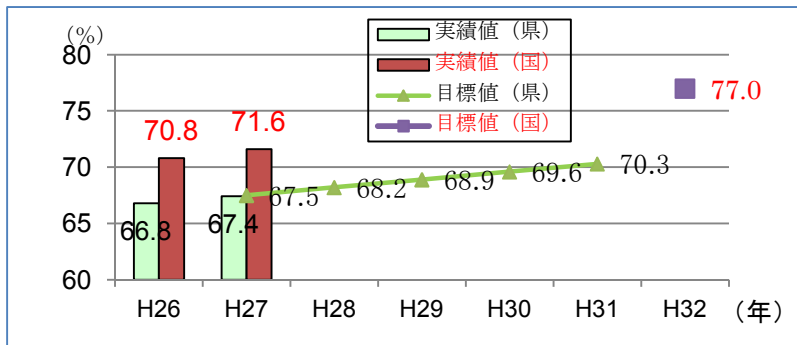
※労働力調査（総務省）（実績値及びH25目標値）、グランドデザイン（H27目標値～）

☆国(第4次) 成果目標
77%(H32年)

【分析】

H25 にプラン目標を達成し、更にグランドデザイン目標の達成に向け順調に推移しているが、国の目標値 77%(H32)を踏まえると、課題は残っている。

<参考①>25～44歳の女性の就業率【県と国の比較】



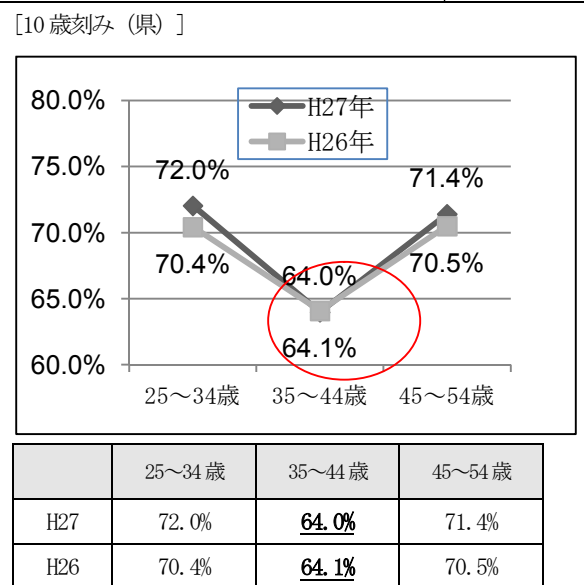
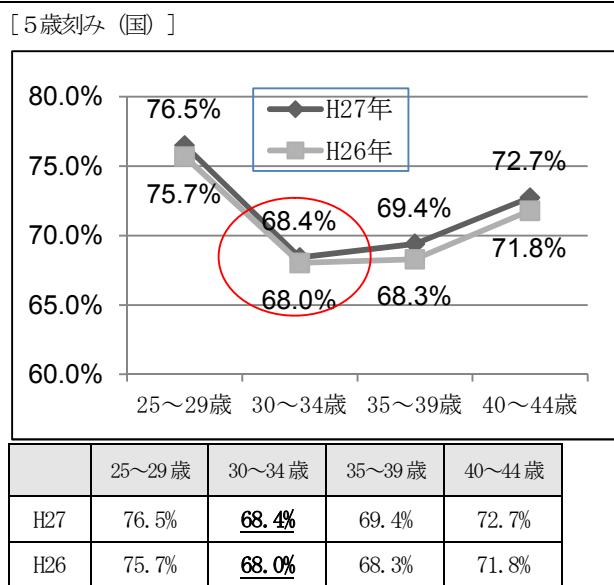
※労働力調査（総務省）

【神奈川県における仕事と家庭の両立の困難さを示すデータ】

- ・長時間労働⇒全国4位(H24)
- ・通勤等時間/日⇒全国1位(H23)

※地域少子化対策検討のための手引き（内閣官房）より

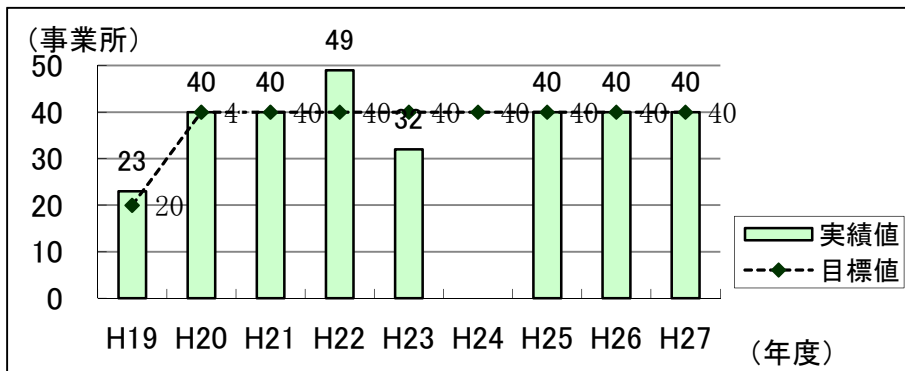
<参考②>25～44歳の女性の就業率【M字の詳細による比較】



※県の労働力調査は国から提供されるデータ（10歳刻み）により作成。（5歳刻みデータなし）

※労働力調査（総務省）

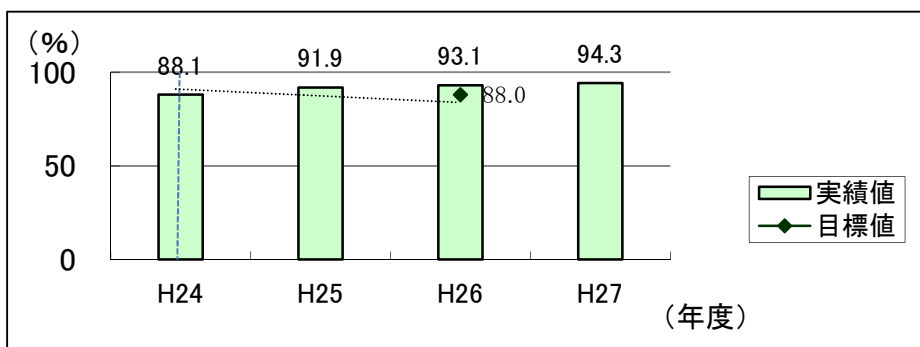
②男女共同参画推進の普及に向けて県が訪問する企業数



【分析】
 継続して目標を達成している。

※人権男女共同参画課調査 (H24は実施なし)

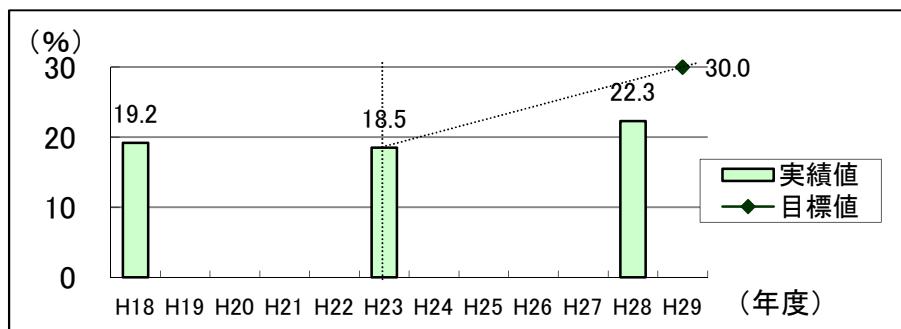
③職業技術校生の修了1年後の就職率



【分析】
 継続して目標を達成している。

※産業人材課回答

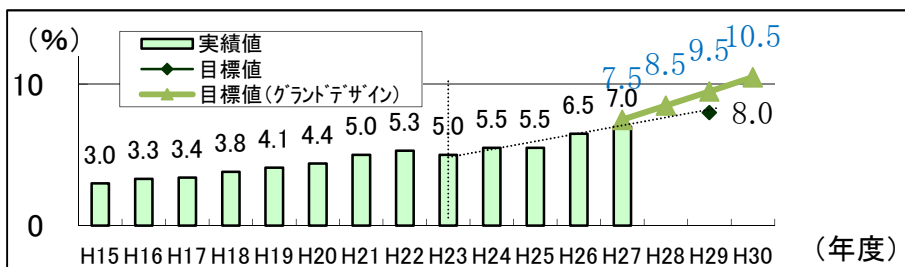
④「職場」における男女の平等感



【分析】
 前回調査より平等感は上昇しているものの、依然課題が残っている。
 ⇒H28はニーズ調査結果

※県民ニーズ調査 (課題調査)

⑤【再掲】 民間事業所の女性管理職 (課長相当職以上) の割合

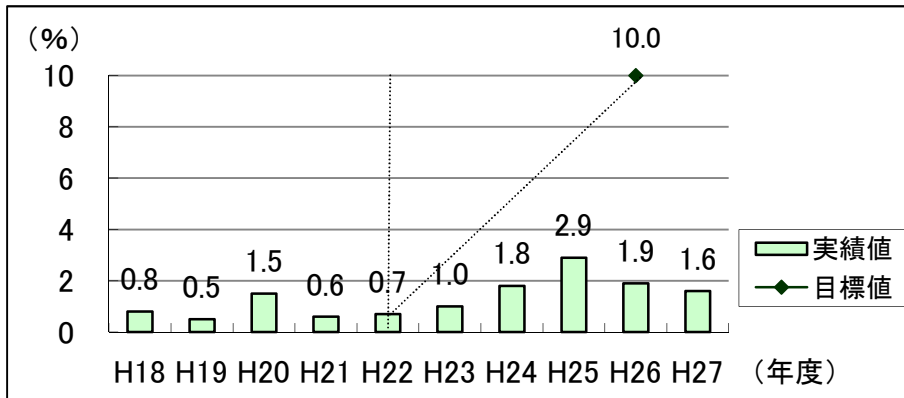


【分析】
 プランの目標達成については順調に推移している。(ただしグランドデザインの目標値には達していない。)

※男女共同参画推進条例に基づく事業所からの届出結果 (かながわ男女共同参画センター)

【重点目標3】仕事と生活の調査（ワーク・ライフ・バランス）の実現

①県職員男性の育児休業取得率

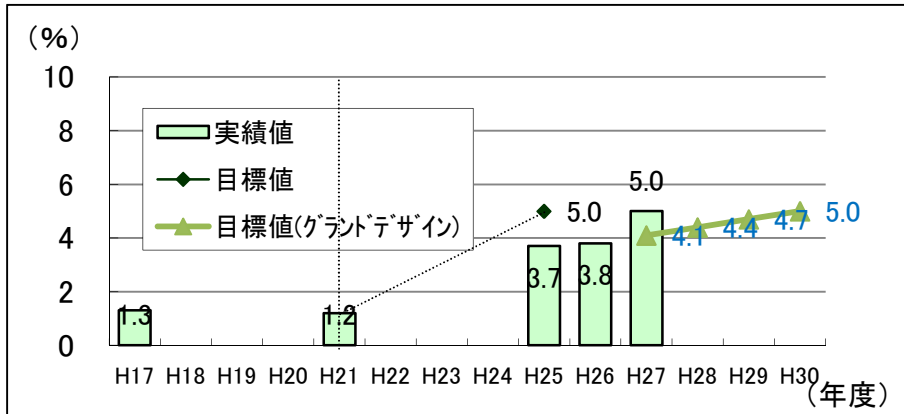


※人事に関する統計報告から算出（H23まで）（人事委員会）、
子育てを支え合う職員行動計画（H24から）（人事課）

☆国(第4次) 成果目標
地方公務員 13%(H32年)

【分析】
目標値には達しておらず、課題が残っている。

②男性の育児休業取得率

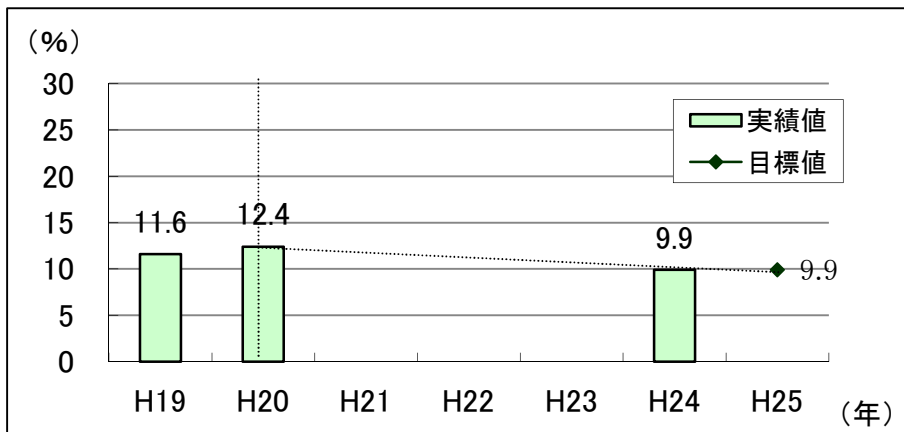


※女性労働実態調査(H21～神奈川県働く環境に関する事業所調査に調査名変更)(H17～25)（商工労働部）
男女共同参画推進条例に基づく事業所からの届出結果（H26～）（かながわ男女共同参画センター）
神奈川県における仕事と生活の調和の実現に向けた提言(H25 目標値)

☆国(第4次) 成果目標
民間企業 13%(H32年)

【分析】
目標年度は過ぎているもののH27に達成しており、グランドデザインの目標値にも達している。ただし国の目標値13%(H32)を踏まえると、課題は残っている。

③週労働時間 60 時間以上の雇用者の割合

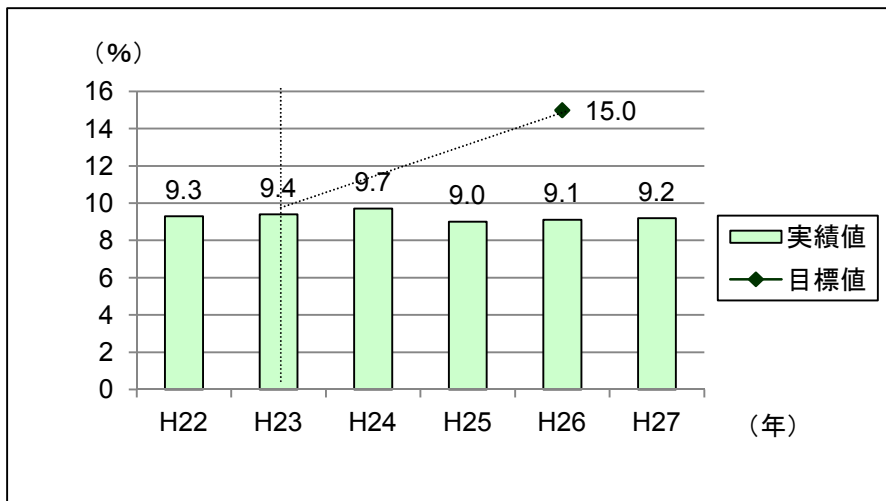


※神奈川県における仕事と生活の調和の実現に向けた提言(H20)、就業構造基本調査(H19・24)（総務省）

☆国(第4次) 成果目標
5.0%(H32年)

【分析】
達成しているが、国の目標値 5.0%(H32)を踏まえると、課題は残っている。

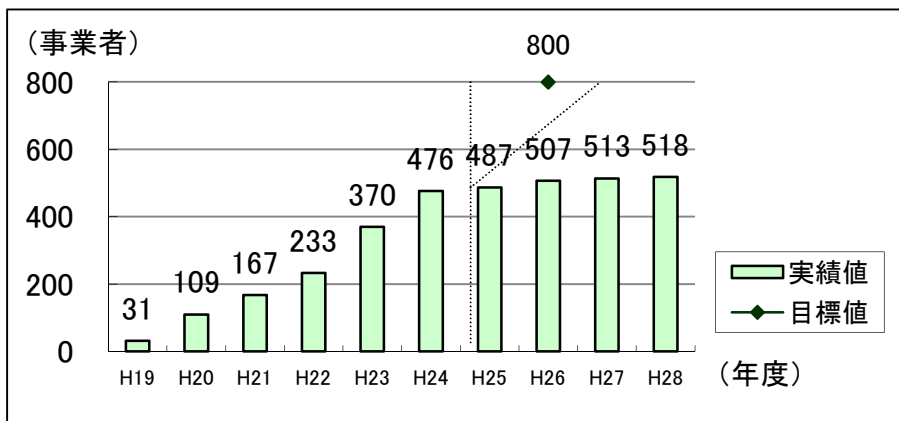
④県職員 1人あたりの年次休暇取得日数



【分析】
 目標値には達しておらず、課題が残っている。

※子育てを支え合う職員行動計画（人事課）（プランの現状値は知事部局のみの数値だが、目標値は職員行動計画数値のため、上のグラフの実績値も職員行動計画から転記した。）

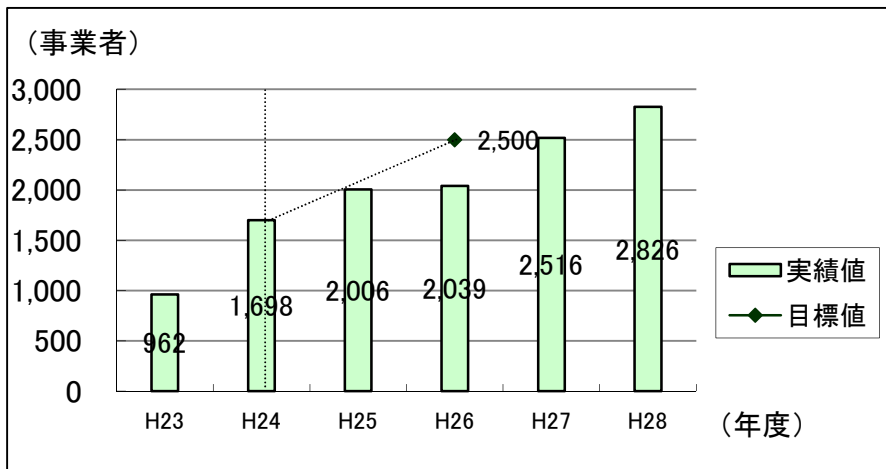
⑤子ども・子育て支援に取り組む事業者の認証事業者数



【分析】
 目標年度を越えた H28 年度において目標に達しておらず、課題が残っている。
 ⇒H28 は年次報告書

※次世代育成課回答

⑥かながわ子育て応援パスポート（子育て家庭の外出を応援するサービス）の協力事業者数

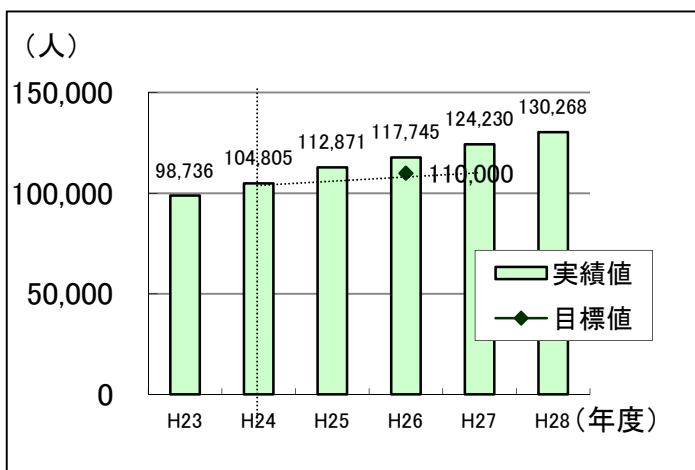


【分析】
 目標年度は過ぎているものの H27 に達成している。
 ⇒H28 は年次報告書

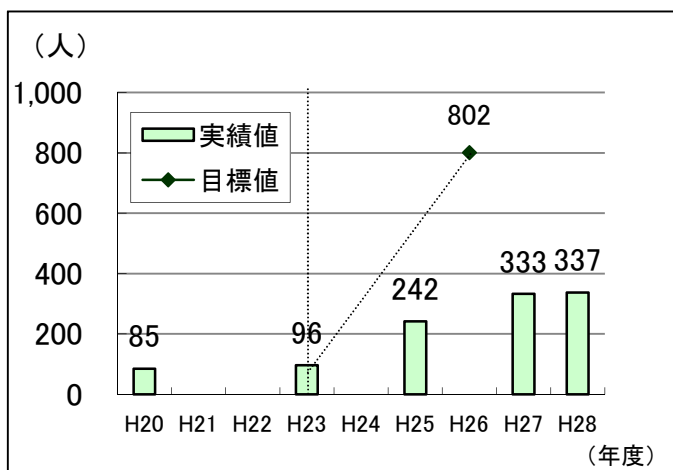
※グランドデザイン点検報告書、グランドデザイン評価報告書 2015

⑦就学前児童の保育・幼児教育の提供

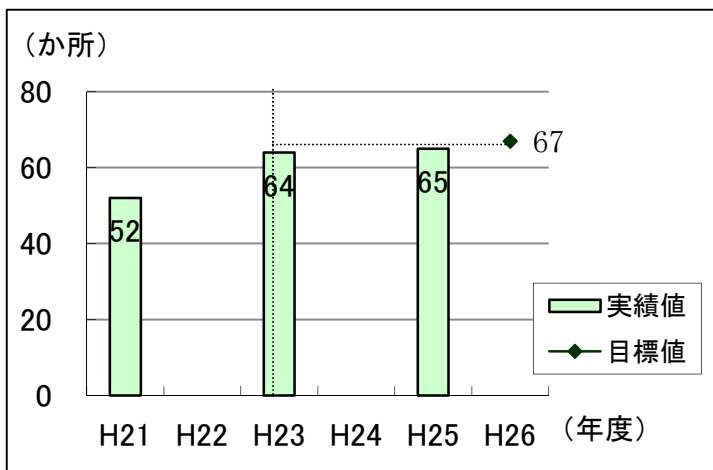
(1) 認可保育所定員数



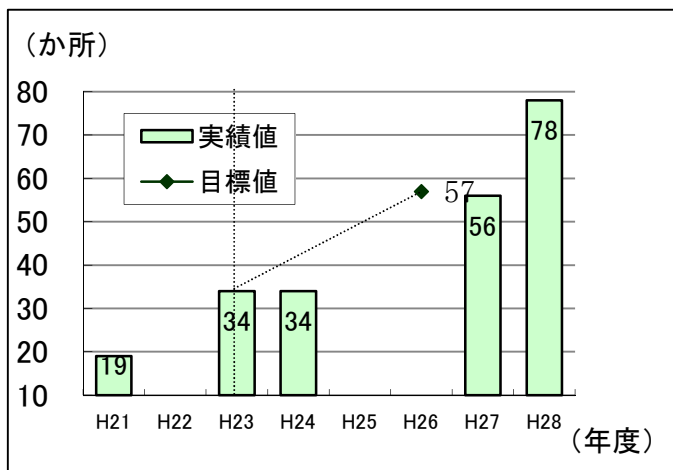
(2) 家庭的保育



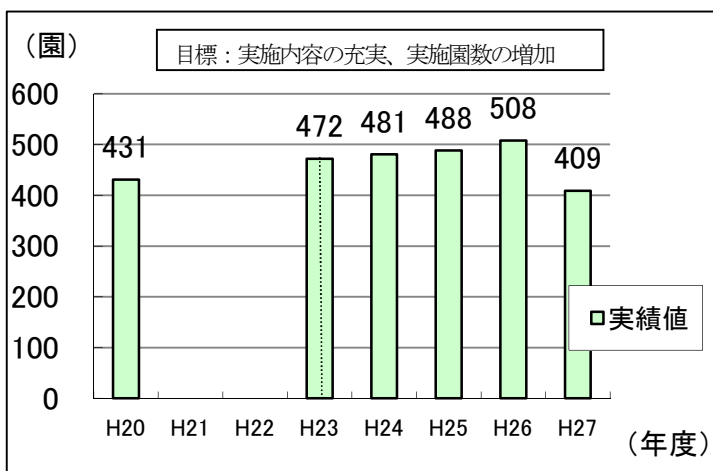
(3) 認定保育施設 ※制度終了



(4) 認定こども園



(5) 幼稚園の預かり保育



【分析】

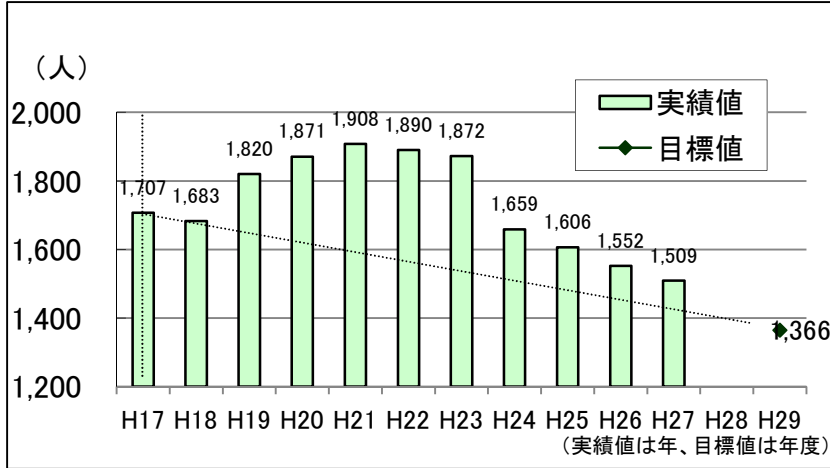
- ・(1)は目標に達している。
- ・(2)は遅れているため課題が残っている。
- ・(3)は事業終了。
- ・(4)は達成に向けて概ね順調に推移している。
- ・(5)は、実施内容は目標数値として図ることが困難。H27年度は実施園数が減少したが、H27年度からの子ども・子育て新制度移行園によるものと考えられ、目標については、概ね達成と考えられる。⇒H28は年次報告書

※(1) グランドデザイン(H23～25)、次世代育成課回答(H26～27)

(2)～(4) かながわぐるみ・子ども家庭応援プラン(H21以前)、次世代育成課回答(H23～)

(5)は、実施内容は子ども教育支援課、実施園数は私学振興課回答

⑧自殺者の減少

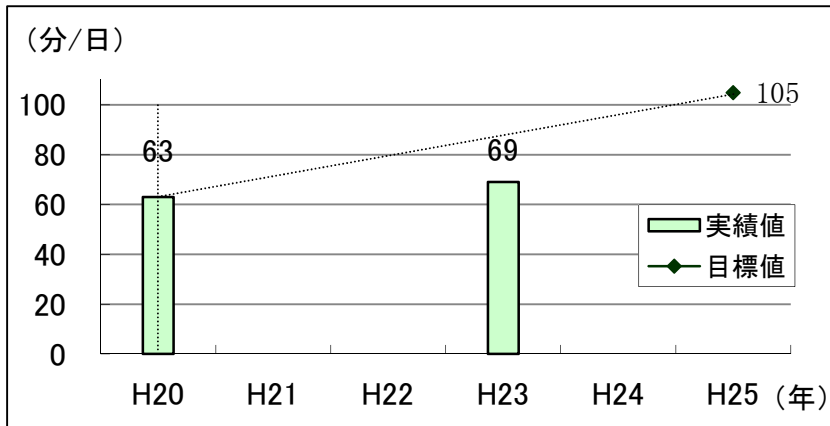


※神奈川県衛生統計年報

☆国(第4次) 成果目標
・自殺死亡率 H17 比 20%以上減少(H28 年までに)

【分析】
H27 現在で目標値に達しておらず、推移から考えても、課題が残っている。

⑨6歳未満の子どもを持つ夫の育児・家事関連時間



※神奈川県における仕事と生活の調和の実現に向けた提言(H20)、社会生活基本調査(H23) (総務省)

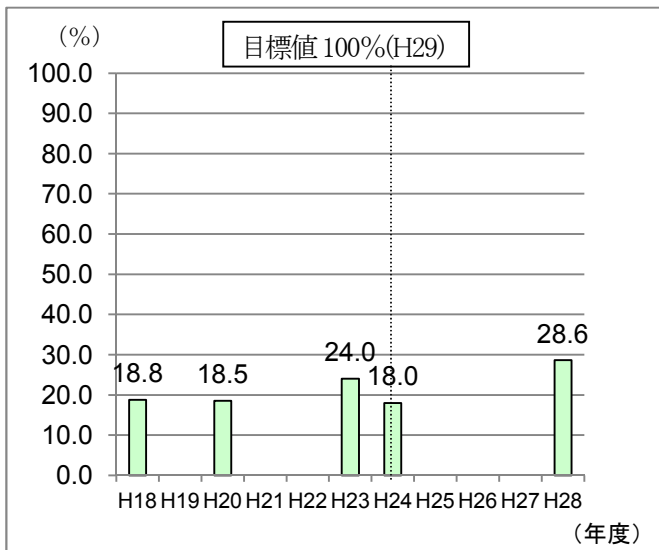
☆国(第4次) 成果目標
・1日あたり2時間30分 (H32年)

【分析】
直近データが H23 のため分析困難だが、推移を踏まえると遅れていると考えられ、課題が残っている。

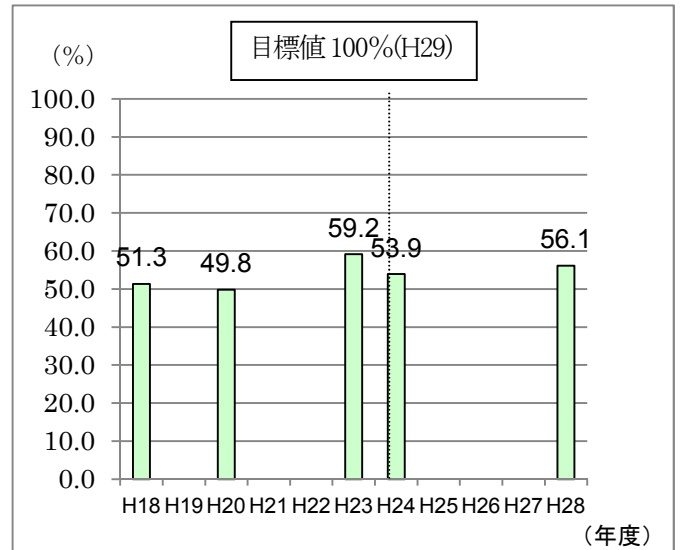
【重点目標4】異性に対する暴力の根絶と人権の尊重

① 夫婦間における次のような行為を暴力と認識する人の割合

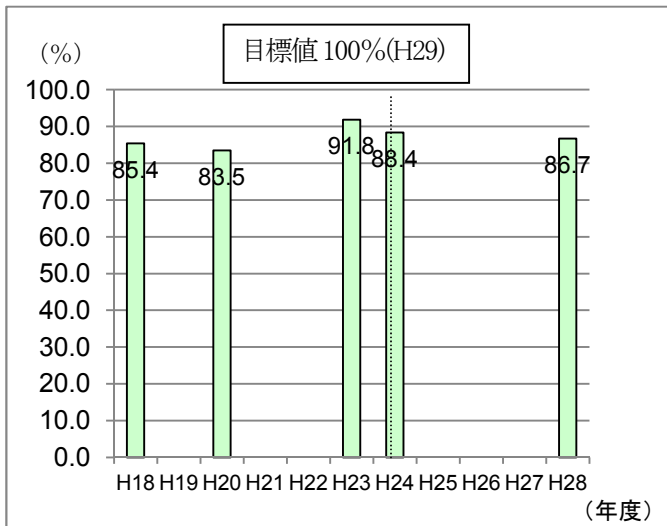
(1) 「交友関係や電話を細かく監視する」



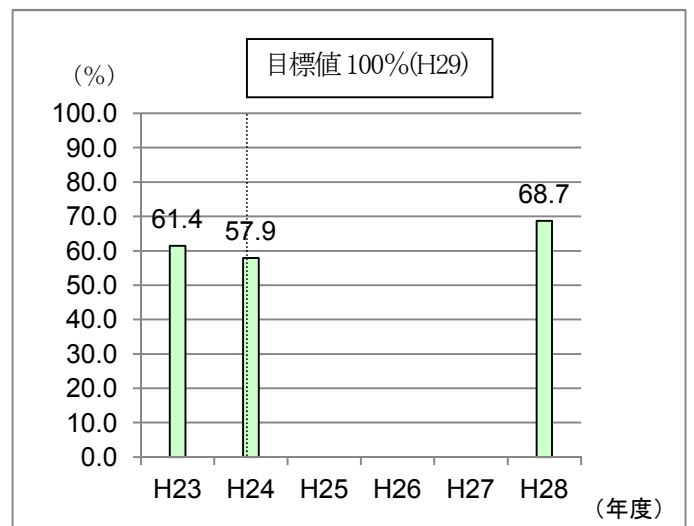
(2) 「大声で怒鳴る」



(3) 「平手で打つ」



(4) 「生活費を渡さない」(H23～)



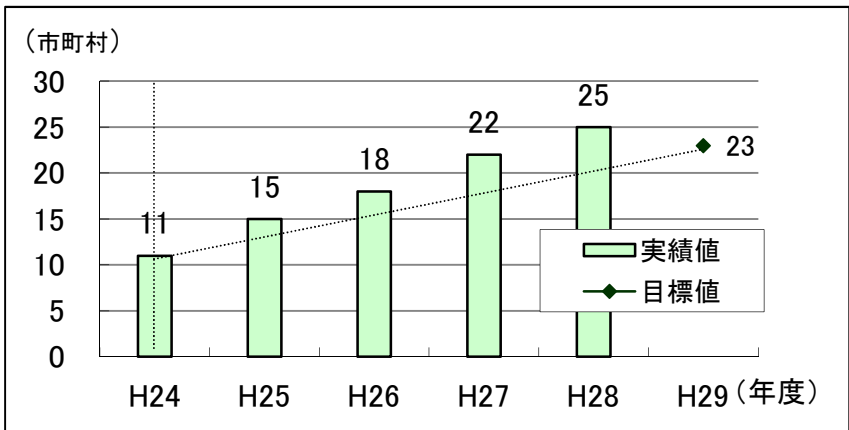
※県民ニーズ調査 (課題調査)

【分析】

(3) 「平手で打つ」以外については暴力と認識している人の割合が低いなど、課題が残っている。

⇒H28 はニーズ調査結果

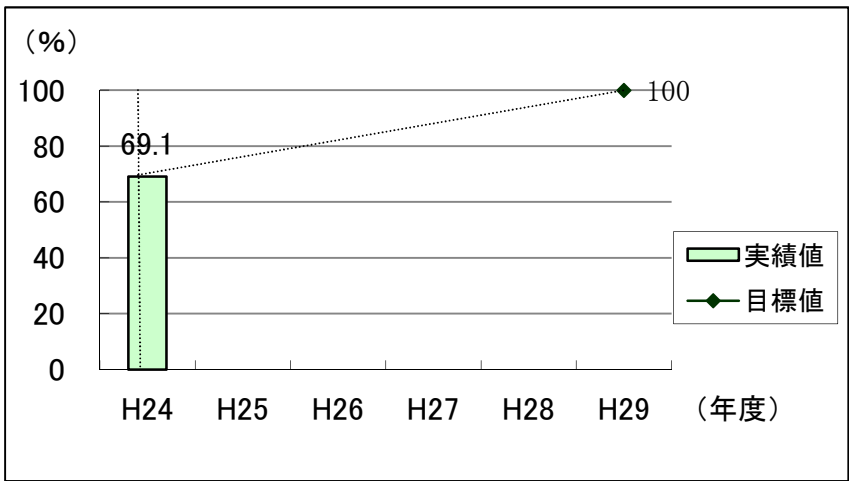
② 配偶者等からの暴力防止や被害者支援に関する基本計画の策定市町村数



※人権男女共同参画課調査

【分析】
達成している。

③ 配偶者等からの暴力の相談窓口の周知度

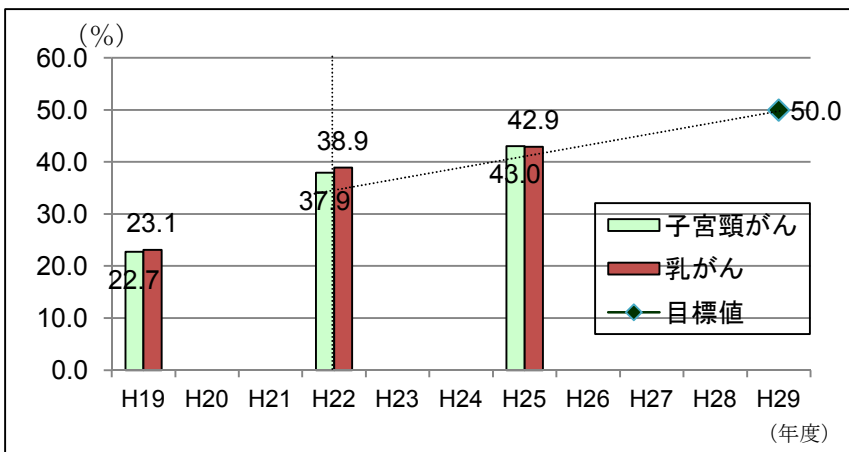


※県民ニーズ調査（課題調査）

☆国(第4次) 成果目標
・男女とも 70%(H32 年)

【分析】
直近データが H24 のため分析困難だが、数値の乖離を踏まえると遅れていると考えられ、課題が残っている。

④ 子宮頸がん検診、乳がん検診受診率



※がん・疾病対策課回答

☆国(第4次) 成果目標
子宮頸がん・乳がんとも
50%(H32 年)

【分析】
順調に推移している。